

2022 年度公益財団法人全日本柔道連盟  
第 1 回 ID（知的障がい者）柔道安全指導研究会 要項

- 1 目的 「知的障がいがあっても柔道ができる」という認識を発信し、知的障がい者柔道への理解を深めていくための広報、普及活動を行い、知的障がい者柔道の社会的認知度や価値を高めていく。指導者に対して指導法や知的障がい者柔道試合審判特別規程について共有していく。
- 2 主催 公益財団法人全日本柔道連盟
- 3 後援 広島県柔道連盟
- 4 日時 2022 年 7 月 23 日（土）午後 13：00～16：00
- 5 場所 崇徳学園高校 柔道場  
広島市西区楠木町 4 丁目 15-13
- 6 参加資格 2022 年度全日本柔道連盟登録を完了している者
- 7 講師 公益財団法人全日本柔道連盟 教育普及・MIND 委員会  
知的障がい者柔道振興部会 部会長 濱名 智男  
副部会長 山崎 正義
- 8 内容 (1) 知的障がい者（ID）柔道の概要（13:00～14:00）
  - ・全柔連教育普及 MIND 委員会 知的障がい者柔道振興部会設立の経緯
  - ・知的障がい者柔道の指針・ミッション
  - ・これまでの活動について
  - ・知的障がい者理解
  - ・日本の知的障がい者柔道の現状
  - ・パラリンピックと知的障がい者スポーツ競技
  - ・国際的な知的障がい者柔道競技の現状(2) 全日本柔道連盟 ID 柔道試合審判特別規程（14:00～15:00）
  - ・ID 柔道審判特別規程の基本的な考え方
  - ・国際柔道連盟試合審判規程との相違点
  - ・禁止行為の詳細
  - ・安全な試合進行について(3) ID 柔道指導法（15:00～16:00）
  - ・指導者の心がけ
  - ・ウォーミングアップ（柔道遊び）
  - ・立技
    - ア 受身
    - イ 姿勢（自然体）

- ウ 進退（運足）
  - エ 柔の理（防禦法として）
  - オ 崩し（攻撃法として）
  - カ わざ
  - ・抑技
    - ア 単独動作
    - イ 相対動作（抑え方）
    - ウ 相対動作（逃れ方）
    - エ 相対動作（攻防）
  - ・クールダウン
- 9 参加費 無料
- 10 その他 本講習会は指導者資格の更新ポイント（3ポイント）として付与する。  
なお、ポイント付与にあたっては、指導者登録を完了していることが条件となる。（個人登録のみ行い、指導者登録が完了していない場合、ポイントは付与されない）  
会場の駐車場には駐車台数に限りがあるため、公共交通機関を使用することを推奨する。
- 11 申込方法 参加を希望する者は、以下2つの方法のいずれかで申し込むこと。  
① 本連盟HPに掲載されたGoogleフォームに必要事項を記載する。  
② （別紙）申込書を事務局へ郵送する。  
申込期限 2022年7月19日（火）必着
- 12 個人情報、肖像権の取り扱いについて  
大会中に撮影された写真や動画が、全日本柔道連盟公式ホームページやSNS、制作物等に掲載される場合がある。また、その他の報道機関等により、新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。  
提出された個人情報については、上記目的以外に使用することはない。参加申込用紙の提出により、上記取り扱いについての承諾をいただいたものとして対応する。
- 13 お問い合わせ 全日本柔道連盟 振興課（担当：佐々木）  
メールアドレス：[idjudo@judo.or.jp](mailto:idjudo@judo.or.jp)